

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	トライデントデザイン専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養 専門課程	総合デザイン学科 ビジュアルデザイン コース	夜・通信	2190時間	240時間	
	総合デザイン学科 CGデザインコース	夜・通信	2190時間	240時間	
	総合デザイン学科 インテリアデザイン コース	夜・通信	2190時間	240時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://design.trident.ac.jp/uploads/d1e14b438822926791d637f305dc1668a5bf5d3d.pdf">https://design.trident.ac.jp/uploads/d1e14b438822926791d637f305dc1668a5bf5d3d.pdf</a> 「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	トライデントデザイン専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://design.trident.ac.jp/uploads/bf7522877b0011572ed50ab47a15abfd57c1bc7f.pdf> 「大学等の設置者の理事名簿」

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2021年6月4日～ 2023年6月3日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	会社役員	2021年6月4日～ 2023年6月3日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	トライデントデザイン専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>講義計画書(シラバス)は、全学科とも、年度・学期ごとに全履修教科について作成している。シラバスには、科目名・担当講師・科目のねらい・教科書・教材・授業概要・到達目標【専門知識スキル・社会人基礎力】・備考【受講ルール・評価の観点・その他・評価項目(評価の方法)】・コマごとのテーマ・内容(詳細)・取得目標・ターゲット社会人基礎力・授業運営方法・持参物等・授業外学習・宿題・提出課題等・重要用語・キーワード(任意)などを記載している。シラバスは、各コース担当教員には、所定の場所にファイル保管し閲覧できるようにしている。学生には、学生ポータルサイトから確認できるようになっている。またホームページ内の学校紹介・学校公開資料内にて閲覧可能。シラバスの利用方法は、各コース長・教務担当については、授業構想の確認と授業の進捗状況に使用している。また、学生については、学習計画や各教科の意味・カリキュラム上の位置づけなどへの理解、持参物の確認に使用している。シラバスの公開時期は、各学期初めのオリエンテーション時より閲覧可能としている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学生ポータルサイト、講師室閲覧</p> <p><a href="https://design.trident.ac.jp/uploads/76b86c87f46d99885dad43ae4ae59af022b9c168.pdf">https://design.trident.ac.jp/uploads/76b86c87f46d99885dad43ae4ae59af022b9c168.pdf</a> 「実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)」学科・コース別</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生成績評価に関しては、実技科目で課題作品はすべて期限内に提出することを原則とし、科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・課題作品により総合的に評価している。評価は A・B・C・F の4段階で表示し(科目により認(認定)と評価する場合もある)、F(不認定)は不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。評価については相対評価として、評価配分に関してはあらかじめ提示し、実施している。</p> <p>単位認定に関しては、出席状況が良好・授業参加態度が良好・課題の提出・小テスト・期末試験の結果が基準に達しており、成績評価が A(優)・B(良)・C(可)のいずれかであることが認定条件である。</p> <p>課題(小テスト)の評価に関しても課題ごとに課題評価表にて評価し、最終評価の際に元となる課題評価表も提出させている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA (Grade Point Average) の計算方法  計算式：(成績評価数値×成績評価取得数×科目単位数) の合計÷総単位数=GPA  成績評価数値は「A・B・C・F」4段階で、それぞれは以下の数値で計算される。  (「認」は含まない) A=11、B=7、C=4、F=0  GPAの指標を設定し、本校ホームページ上の学校紹介・学校公開資料内に公表している。成績の分布資料も作成し把握している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://design.trident.ac.jp/uploads/9ac6de99ed148a4901b3903671f41dfc6edc467b.pdf">https://design.trident.ac.jp/uploads/9ac6de99ed148a4901b3903671f41dfc6edc467b.pdf</a> 「成績評価における客観的な指標の算出方法、方法」</p> <p><a href="https://design.trident.ac.jp/uploads/21daade8da9147abccc4dfacea9dfe32532421ca.pdf">https://design.trident.ac.jp/uploads/21daade8da9147abccc4dfacea9dfe32532421ca.pdf</a> 「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- (1) 各年次において、進級・卒業必要単位数以上を取得しているものとする。
- (2) 進級・卒業判定会議で承認されること。
- (3) 在籍年次終了時に指定した検定試験いずれか1つに合格もしくは指定点数以上を修得していること。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<https://design.trident.ac.jp/uploads/08c9ad41b7b39d11acde4e1881478f8886802c0c.pdf> 「卒業の認定に関する方針」

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	トライデントデザイン専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://design.trident.ac.jp/uploads/a7a315f9b3e489e1b59d1f14180a5b4fdeb61368.pdf">https://design.trident.ac.jp/uploads/a7a315f9b3e489e1b59d1f14180a5b4fdeb61368.pdf</a> 「2020年度業報告書」
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://design.trident.ac.jp/uploads/a7a315f9b3e489e1b59d1f14180a5b4fdeb61368.pdf">https://design.trident.ac.jp/uploads/a7a315f9b3e489e1b59d1f14180a5b4fdeb61368.pdf</a> 「2020年度業報告書」
財産目録	<a href="https://design.trident.ac.jp/uploads/a7a315f9b3e489e1b59d1f14180a5b4fdeb61368.pdf">https://design.trident.ac.jp/uploads/a7a315f9b3e489e1b59d1f14180a5b4fdeb61368.pdf</a> 「2020年度業報告書」
事業報告書	<a href="https://design.trident.ac.jp/uploads/a7a315f9b3e489e1b59d1f14180a5b4fdeb61368.pdf">https://design.trident.ac.jp/uploads/a7a315f9b3e489e1b59d1f14180a5b4fdeb61368.pdf</a> 「2020年度業報告書」
監事による監査報告（書）	<a href="https://design.trident.ac.jp/uploads/a7a315f9b3e489e1b59d1f14180a5b4fdeb61368.pdf">https://design.trident.ac.jp/uploads/a7a315f9b3e489e1b59d1f14180a5b4fdeb61368.pdf</a> 「2020年度業報告書」

<https://design.trident.ac.jp/uploads/a7a315f9b3e489e1b59d1f14180a5b4fdeb61368.pdf>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	総合デザイン学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	単位時間 3000/単位	単位時間 600/単位	単位時間 2400/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
			3000 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
300人		303人	8人	6人	24人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）デザイン全般を学び進路を定め、企業が求める人材教育とデザインを通じて社会に貢献できる人材を育成する。</p> <p>カリキュラム構成の考え方は、1年次は「共通科目」としてデザイン全体の基礎科目を学修する。2年次、3年次で「基礎科目」「共通科目」「感性教育」「専門理論科目」「専門実技科目」の科目群を体系立ててカリキュラム構成し、コース・学年ごとに学修の効率性と進捗予定を考慮して配置している。「基礎造形」「共通科目」「感性教育」は、学科共通科目として中心的な基礎知識・技術を1年次にまとめ、卒業年次においては、それまでの成果を土台に実務に即した業界知識・技術修得が可能な設定としている。すなわち、共通科目の履修によって自覚されたデザイナーとしての個性・特長のいっそうの向上を意識した学修や、評価として客観的に認識された資質に重点を置いて指導することが可能なカリキュラム編成を志向している。</p>

<p>また資格取得に関しては、「検定対策科目」を設置し、就職活動時まで必要とされる資格取得が可能となるようカリキュラム設定を行い、進級・卒業規定に定め資格取得率向上にも取り組んでいる。</p> <p>カリキュラム編成体制は、カリキュラム編成の統括的チェックの観点から、既存のカリキュラムについて、企業・団体からの意見を反映し、授業設定や授業内容の改訂などを検討する教育課程編成委員会を年2回各コースにおいて開催している。その検討結果を受けて、各コース長を中心に、当該年度のカリキュラム企画立案を行い、教務担当と教育内容・設備・時間数なども含めて調整のうえカリキュラム編成を行っている。次に、カリキュラム編成要綱に沿って授業担当講師による「講義計画書」について、学科長・教務担当でカリキュラム目的との整合性と効率性を勘案しながら検討し、カリキュラム編成する体制としている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要) 実技科目での課題作品は全ての期限内に提出することを原則とし、試験結果、課題作品、その他の提出物、出席状況、受講態度などで総合的に評価。評価は原則、A(優)、B(良)、C(可)、F(不可)の4段階とする。また、科目によっては、認(認定)と評価されることもある。</p> <p>G P A (Grade Point Average) の計算方法          計算式：(成績評価数値×成績評価取得数×科目単位数)の合計÷総単位数＝G P A          成績評価数値は「A・B・C・F」4段階で、それぞれは以下の数値で計算さる。          (「認」は含まない) A=11、B=7、C=4、F=0</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 進級・卒業の条件          (1) 各年次において、進級・卒業必要単位数以上を取得していること。          (2) 進級・卒業判定会議で承認されること。          (3) 在籍年次終了時に指定した検定試験いずれか1つに合格もしくは指定点数以上を修得していること。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習P D C Aを実行している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
60人 (96.8%)	0人 (0%)	42人 (70%)	18人 (30%)
<p>(主な就職、業界等) ビジュアル系：パウハウス/武田コーポレーション/伊藤商店/カミオジャパン/長田広告他/CG系：クリーク・アンド・リバー/グリオグローヴ/カナバングラフィックス/キュー他/インテリア系：クラシスホーム/アーティストリー/JR東海コンサルタンツ/TAKシステムズ/マッシュ他</p>			
<p>(就職指導内容) 就職活動前年度に保護者と進路確認のための三者面談、就職対策授業、担任主催の就職研究の実施。キャリアセンターによる履歴書添削指導・面接練習の実施。</p>			

(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩検定、レタリング検定、ビジネス能力検定、実用英語検定、CGクリエイター検定、イラストレーター検定他
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
251人	6人	2.4%
(中途退学の主な理由) 病気、進路変更、学校不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者会の実施、学費援助制度の導入、臨床心理士カウンセリング、カウンセリング勉強会の実施		



## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合デザイン学科	200,000 円	730,000 円	370,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
特待生選抜制度、トライデント奨学生制度、トライデント同窓会奨学生制度、 トライデント海外留学奨学生(スカラシップ留学)制度、河合塾グループ在籍者対象減免 制度、家族入学者減免制度				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://design.trident.ac.jp/uploads/e960e64344c9115e8d68b190fe4981d09d1fe2df.pdf">https://design.trident.ac.jp/uploads/e960e64344c9115e8d68b190fe4981d09d1fe2df.pdf</a> 「2019年度 自己点検・評価報告書」(「2020年度 自己点検・評価報告書」に関しては、7月初旬公表予定)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 校長直属の委員会として学校関係者評価委員会を設置し、「学校自己点検・評価報告書」および「授業科目等の概要」を中心に学校に対する外部評価を実施する。 年1回学校関係者評価委員会を実施し、情報共有を行い、指摘事項について、改善を行っている。 ・主な評価項目：(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入れ募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流 ・評価結果の活用方法：自己点検・自己評価報告書の低い評価項目と学校関係者評価委員会の評価・指摘より、内部で検証を行い、改善案を策定する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
竹田印刷株式会社	2021年4月1日～ 2022年3月31日	企業
株式会社バウハウス丸栄	2021年4月1日～ 2022年3月31日	企業
山吹設計工房 一級建築士事務所	2021年4月1日～ 2022年3月31日	卒業生
山崎デザイン事務所	2021年4月1日～ 2022年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://design.trident.ac.jp/uploads/8c4e2834307c806a38ff5a95c10b0e4762c666c1.pdf">https://design.trident.ac.jp/uploads/8c4e2834307c806a38ff5a95c10b0e4762c666c1.pdf</a> 「2019年度学校関係者評価結果書」(「2020年度学校関係者評価結果書」に関しては、8月学校関係者評価委員会を開催のため9月末に公表予定)		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://design.trident.ac.jp/school/sight.html">https://design.trident.ac.jp/school/sight.html</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	トライデントデザイン専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		29人	27人	29人
内 訳	第Ⅰ区分	16人	18人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				29人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受け

たことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	13人	人	人
出席率が8割以下その他	0人	人	人

学修意欲が低い状況			
計	13 人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。